

NEWS RELEASE

2025.06.30

ご家庭での太陽光発電の余剰電力（卒FIT再エネ電力）を 買い取るプログラム「阪急エネトス」スタート 7月1日（火）から申込受付を開始します！

～ 初回買取時の特典として阪急百貨店の商品券1,000円分と阪急電鉄の乗車券2枚（2回乗車分）を進呈 ～



阪急電鉄では、本年3月に発表した^{※1}一般のご家庭でFIT^{※2}（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）の適用期間を終えた太陽光発電システムの余剰電力（以下「卒FIT再エネ電力」）を買い取るプログラム「阪急エネトス」の申込受付を7月1日（火）から開始することを決定しましたのでお知らせします。

阪急エネトスは、大阪ガスが定める対象エリア^{※3}のご家庭で発電された卒FIT再エネ電力を、大阪ガスが小売電気事業者として買い取り、阪急電鉄に再エネ価値（環境価値）付きの電力^{※4}として供給するプログラムで、FIT制度による買取事業者から「買取期間満了通知」を受け取っている方が対象です。

2027年度末までに1,000件のお申込みをいただくことを目指しており、ご提供いただいた電力は駅構内店舗や技術部門の現場事務所等の電力に活用する予定です。お申込みいただいた方には、初回買取時の特典として、阪急百貨店の商品券1,000円分と阪急電鉄の乗車券2枚（2回乗車分）を進呈します。

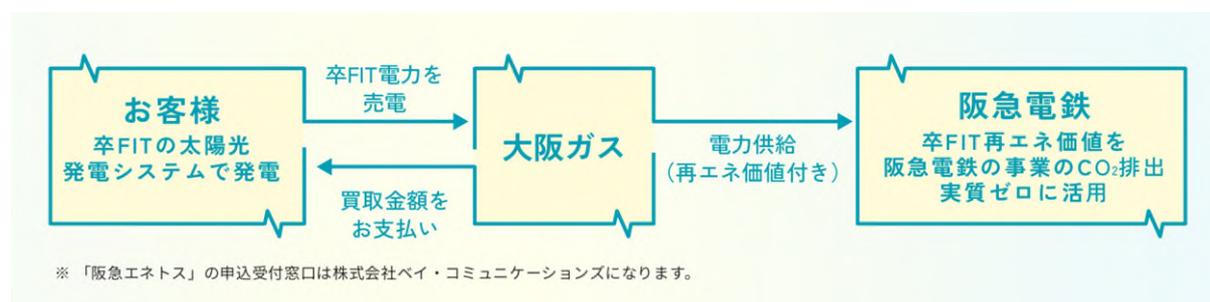


阪急阪神ホールディングスグループは、「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」において「環境保全の推進」を重要テーマの一つとして定め、2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて取り組んでいます。また、阪急電鉄では「阪急エネトス」の導入に先行し、本年4月から全線（約143.6km）において鉄道用電力のCO₂排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル運行」を実施しています。今後とも再エネ電力の活用をはじめとするカーボンニュートラルに向けた施策を推し進め、グループ全体で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



- ※1：2025年3月26日（水）リリース
ご家庭での太陽光発電の余剰電力（卒FIT再エネ電力）買取プログラム『阪急エネトス』2025年7月からスタート
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/release/docs/ed8a50fe64e4ea0f7f1e2f9c7e468ebf0d78f677.pdf>
- ※2：再生可能エネルギーにより発電された電力を、国が定めた買取価格で一定期間、小売電気事業者が買い取ることを義務付けた制度です。2009年11月に太陽光発電の余剰電力買取制度として開始され、2012年7月から現在の制度に移行しました。固定価格での買取期間は、10年間と定められています。10年を経過すると、固定価格での買取が終了するため、小売電気事業者等に対して余剰電力を売電する等の対応が必要となります。
- ※3：関西電力送配電株式会社の一般送配電事業における供給区域が対象です。（大阪府、京都府、兵庫県（一部を除く）、奈良県、滋賀県、和歌山県、ならびに三重県、岐阜県、福井県の一部）
- ※4：CO₂排出量がゼロである付加価値を有する再生可能エネルギーにより作られた電力です。

《阪急エネトスの仕組みについて》



《阪急エネトスのお申込について》

- 【申込開始日】2025年7月1日（火）から
- 【申込対象者】大阪ガスが定める対象エリアで太陽光発電設備を所有されており、「買取期間満了通知」を受け取っている方
- 【申込方法】「阪急エネトス」特設WEBページにある「申込受付はこちら」よりお申込みください
<https://www.hankyu.co.jp/story/enethos/index.html>



（参考）脱炭素社会実現に向けた鉄道の環境優位性の理解促進について

一般社団法人日本民営鉄道協会とJRグループ各社では、日本のカーボンニュートラルの実現に向けて、相対的に低炭素な輸送モードである鉄道のさらなる利用促進（モーダルシフト）をめざすとともに、鉄道の環境優位性に対する社会的な理解促進のため、共通ロゴマークとスローガンを定め、鉄道業界一丸でPRに取り組んでいます

〈詳細ページ〉<https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2023/22402.html>



以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ